



# 松前町 議会だより

## JR 北伊予駅自由通路 及び 周辺整備事業

# 調査特別委員会 ニュース No.1 (9/1 発行)

北伊予駅自由通路(高架橋)  
1.5億円から**4.04億円**に なぜ?!  
(JR・県・町で、くい違い多し)

### 第2回委員会での 理事者との議論の中より

で増加するのでは、説明不足。引き続き内容を精査する。)

去る7月23日、臨時議  
会を開催した。2議員除  
斥での特別委員会可決と  
いう異例のスタートでは  
あったが、成立した限り  
は自由通路建設実施に向  
けて懸念事項を払拭し、  
委員会として納得できる  
結論を出していきたい。

町道認定時に出された  
理事者側の1億5千万円  
の概算額が、設計費や用  
地取得費なども含めると  
4億円以上の金額となっ  
ていた。この開きをどう  
埋めていくのか、地域の  
要望には応えたいし、ま  
さに正念場だ。

特別委員会は、議員全  
員がメンバーで正副委員  
長を、澤田、八束の両氏  
に決めた。既に委員会を  
3回開催した。

町道認定時に出された  
理事者側の1億5千万円  
の概算額が、設計費や用  
地取得費なども含めると  
4億円以上の金額となっ  
ていた。この開きをどう  
埋めていくのか、地域の  
要望には応えたいし、ま  
さに正念場だ。

### 決定事項

- ① 委員会の報告会の実施
- ② 委員会ニュースを号外版で発行
- ③ 関係地域住民に対するアンケート
- ④ 委員による任意の聞き取り調査
- ⑤ 自由通路を通学路にする場合の交通安全協会、PTAへの聞き取り

### 今後の予定

- ① 県への聞き取り調査
- ② 理事者の今後の対応策の確認

問 地元の要望は西から  
利用したいということ  
では。

町長 地元要望は平成  
18年に出しているが、  
その後状況変化もあり  
東西を結ぶ自由通路と  
なった。  
(議会に報告なし)

問 当初、県の主体工事  
では、町は地元要望の  
窓口だが、西入口が自  
由通路に変わった訳は。

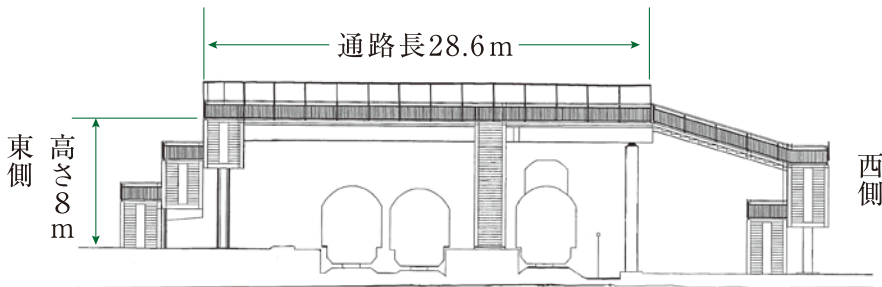
町長 JRの移転に伴う関  
連事業は地域が主体と  
いうのが基本。東西を  
自由に行き来できるほ  
うが便利なので県に要  
望し、認められた。  
(県事業の対象外のた  
め町が事業主体となっ  
た。自由通路にしない  
と補助の対象にならな  
い。)

問 西口通路から自由通  
路に変わった際、議会  
への報告はなく、新設  
する事になった経緯は。

担当部長 西口について  
は平成22年に県が経費  
を安くするため既存の  
橋につなぐことを検討  
していた。町としては  
駅に降りるだけの橋は  
東西を結ぶことになら  
ないし、耐震性も考え  
国の補助が頂きやすい  
新設を考えた。

問 1億5千万円の積算  
の3倍近くになった自  
由通路は、町道認定し  
ても納得いかないが。

町長 JR四国主体でやる  
以上自由通路そのもの  
は2億8千万円である。  
それでも1億3千万円  
の開きがあり人件費や  
物価の高騰、また信号、  
保線など付随費用もあ  
り、金額が上がった。  
今後我々が努力するこ  
とは、この開きを縮め  
ることだ。  
(当初総額で1億5千  
万円と聞いている。設  
計費や用地買収費など



JR北伊予駅自由通路一般図